

現代教師論

奈良教育大学 教師力サポートオフィス 教職ノート



ドキュメント



資料



データ



ワークシート



現代教師論とは

目的

前期の「教職入門」に続き、教師になるための学びのベースラインを形成するための授業です。そのために、ベテランの先生方に教師という仕事について語っていただいたり、附属学校園の授業を見学したりする機会などを組み入れています。教育現場の実際の姿に触れながら、義務教育全体を見渡して、自らの進路イメージを形成し、2回生にむけて、そして教育実習をめざしての、当面の「学ぶ方針」を作成します。

到達目標

- ① 教員の仕事や役割、職務内容を学び、教職の意義および責任について自覚する。
- ② 教員になりゆく自らの進路イメージを形成し、教師としての自己成長の意義と方法の理解の上に、自らの「学ぶ方針」を作成する。

授業計画（内容と方法）

- I. 導入
- II. 学校教育の実際と教師の役割 : 附属校園の教員による講義
- III. 学校見学・授業参観 : 附属校園での見学・参観
- IV. 講話と見学のまとめ : 教職の意義や教師の役割、職務内容等に関する講義
- V. 振り返りと定着 : 受講生による議論と「学ぶ方針」の作成

評価方法

次の3種類を総合して行います。

1. 授業に関するミニレポート（講義前、講義後、学校見学後）（20%）
 - A 講義前ミニレポート…4校種それぞれにおける教育の実際や教師の役割について、教育現場の先生に聞いてみたいこと。
 - B 講義後ミニレポート…4校種それぞれにおける教育の実際や教師の役割について、教育現場の先生の講義を受けて学んだこと。
 - C 附属校園見学後ミニレポート…見学した附属校園についての感想。
2. 講義を通して作成した「学ぶ方針」およびその発表（30%）
3. 総括レポート「教師をめざす私に今求められているもの」（50%）（1200字以内）
「現代教師論」の授業全体をふり振り返り、教師の仕事や役割、自分の進路について考える。

※A4で1枚、横書き。ワープロ作成。やむなく手書きする場合は、原稿用紙（A4横書き）を使用。

※冒頭に授業名、タイトル、所属、学生番号、氏名を明記のこと。

メッセージ

前期「教職入門」に続き、附属学校園の先生方の講話と学校見学などをもとに、教師の仕事についてのイメージを形成するとともに、「教師になりゆく者」としての自らの「学ぶ方針」の作成に取り組みます。専修単位のグループワークを行うことがありますので、積極的な参加を期待しています。



現
代
教
師
論



附属校園の見学について

ねらい

皆さんは、これまでおそらく「教育を受ける」立場でしたが、教職を学ぶ者として、あるいは、2年後には教育実習生となり、子どもと授業に責任をもつ者として、「教育を受ける側」から「教育を与える側」へと視点を転換していかなくてはなりません。この学校園見学を通して、いま展開されている教育や授業に直接触れ、自ら体験してきた教育や授業をふり返ることで、そうした立場の転換をより具体的に意識し、教職の専門性について考察を深めてください。

今回の見学では、特に、教師と子ども、また、子ども同士の関係に注目してみてください。そして、教師の指導のもとで、子ども自身が学び、発達していることに気づいてください。そうした授業や授業外の間関係の積み重ねの中で、私たちもまた育ってきました。今後、教育実習の事前指導などにおいては、より系統的に授業観察などを経験し、3回生で本実習に臨むこととなります。初めての学校園見学となる今回は、「教える」という行為を考える出発点にしてください。

見学のポイント：具体的になにを見るのか

- ① 自分自身の学校体験を想起する。（前提として）
 - ★「遠い日」の幼稚園・小学校時代
 - ★「昨日」のような中学校時代
 - ★障がいのある子どもたちをどんなふうに理解し、どんな関わりをもっていたか
- ② 授業を受けている幼児・児童・生徒（「子ども」）のようす。
 - ★表情、動き、反応の仕方
 - ★授業への興味・関心、参加の仕方
 - ★教師との関係のもち方
- ③ 教師の働きかけ。
 - ★表情、話し方、応答の仕方
 - ★授業の組み立て、指導法、教材・教具の使い方、使わせ方
- ④ その他、授業内外における子どもの姿をとおしてみえてくること。
 - ★教職の専門性
 - ★学校文化
 - ★現代社会と教育の問題

観察記録の内容・書き方

- ① 観察の際、ただ漫然とその場にいるのではなく、上に示した観点等をしっかりもって、授業のようす、子どものようす、子どもと教師・子ども相互の関係などをみることを心がけてください。
- ② よく見るためには、記録をとることが有効です。以下の点に留意して、自分なりの記録を取ってください。
 - ★気づいたことは記録をする。あとで考え直す材料になります。
 - ★あとで想起することができるように、子どもや教師の具体的な事実について、必要な事項やヒントを書き留めましょう。
 - ★ただし、ただひたすら書きつければよいということではありません。主眼はあくまでも授業を見ることであり、その場での教師と子ども、あるいは、子ども同士の関係の中での、それぞれの思考の展開や、そこで形成される学びをとらえることです。記録をとることだけに夢中になって、肝心な子どもや学びを見落とさないようにしましょう。
- ③ 観察を通して感じたこと、考えたことをそのままにせず、観察の終了後に再度ふりかえることが大切です。事後アンケートやミニレポートは、そのためのひとつの方策です。





附属校園からの諸連絡

共通事項

<授業観察において>

観察中は、私語は厳禁です。観察中に喋りたくなったこと、注意を引かれたこと、気になったことなどは記録に残し、授業後に時間があれば、授業担当者に聞いたり、ミニレポートにその疑問・感想を書いたりしましょう。

<持ち物・服装などについて>

- ① 上履きを持参すること。スリッパは、ふさわしくありません。
- ② 各自名札を作成の上、胸につけること。形態は自由です。学校園の安全のために重要です。
- ③ 学校園を見学させていただくのにふさわしい服装で参加すること。真剣な学びの場を見せていただくのにジーンズでは失礼ですし、ヒールの高い靴で小さな子どもの安全は守れません。学校の下駄箱に、ロングブーツは収まりませんね。教育の受け手から主体へと視点を転換していくことが、この見学の大きな目的です。
- ④ ヘッドホンステレオや、ペットボトル飲料をふくむ食品類は持ち込まないこと。
- ⑤ 校園内は、すべての場所で禁煙です。
- ⑥ 携帯電話やアラームつき時計のスイッチは切っておくこと。

附属幼稚園から

<保育観察上の諸注意>

- ① 子どもたちの遊びの妨げにならない場所で観察すること。
- ② 保育室の入り口附近や通路をふさがないこと。
- ③ 観察者の私語は、保育の妨げとなる。静かに観察すること。
- ④ 観察者から子どもたちや教師への働きかけは、原則として行わないこと。
- ⑤ 質問があっても授業担当者には話しかけないこと。観察後、副園長先生が対応してくださいます。

<履き物について>（各自持参のこと）

- ① 保育室内は上履きを使用すること。
- ② 保育室前の中庭、テラス、廊下は、上履きでも下履きでも可。
- ③ 運動場、「子どもの森」は下履き（ハイヒール等不可）を使用すること。

附属小学校から

- ① 子どもにとっても教師にとっても真剣な時間であるから、いい加減な気持ちで観察しないこと。
- ② 教師と子どもたちのかかわりあいの中で、新しい発見や学びが生まれてくる瞬間なのだから、原則として子どもにかまひかけない。子どもを尊重する態度をもつこと。
- ③ この観察が、教育実習に生きて働く力となることを期待する。

附属中学校から

- ① 校内では、上履きを使用すること。履き替えの場所は、指示に従うこと。
- ② 全体集合場所での椅子の設置等、準備や片づけを行うこと。
- ③ 生徒は日常、制服をきちんと着用するように指導されている。見学者は、指導者として生徒に「服装や態度を指導できる」服装にすること。頭髪や態度も同様である。

特別支援学級（小学校、中学校共通）から

特別支援学級の授業見学は、小学校、中学校とも、その日の授業の見学ポイントなどを簡単に特別支援学級の先生からお話しいただき、その後、授業を見学させていただく日程となります。グループごとの授業となりますので、静かに見学してください。

集合場所と時間

それぞれの校園によって、集合の場所と時間が異なります。注意深く聞いて、しっかりメモしてください。また、集合場所は、地図を参照して、事前に確認してください。

注意事項

- ① 集合時間に遅れた場合は、講義・見学に参加できません。
※とくに附属幼稚園は、大学との通用門に施錠をしまうので注意！
- ② 附属中学校へは、徒歩、バス、自転車のいずれかを利用すること。バイク、車での参加は認められません。バスの場合は、JR奈良駅発、高天町（バス停）経由で教育大附属中学校前下車。
※近鉄奈良駅発は停留所に注意！高天町です。JR奈良から附中前まで、道路事情にもよりますが、12～13分です。バス停から附属中学校までは、徒歩10分弱です。

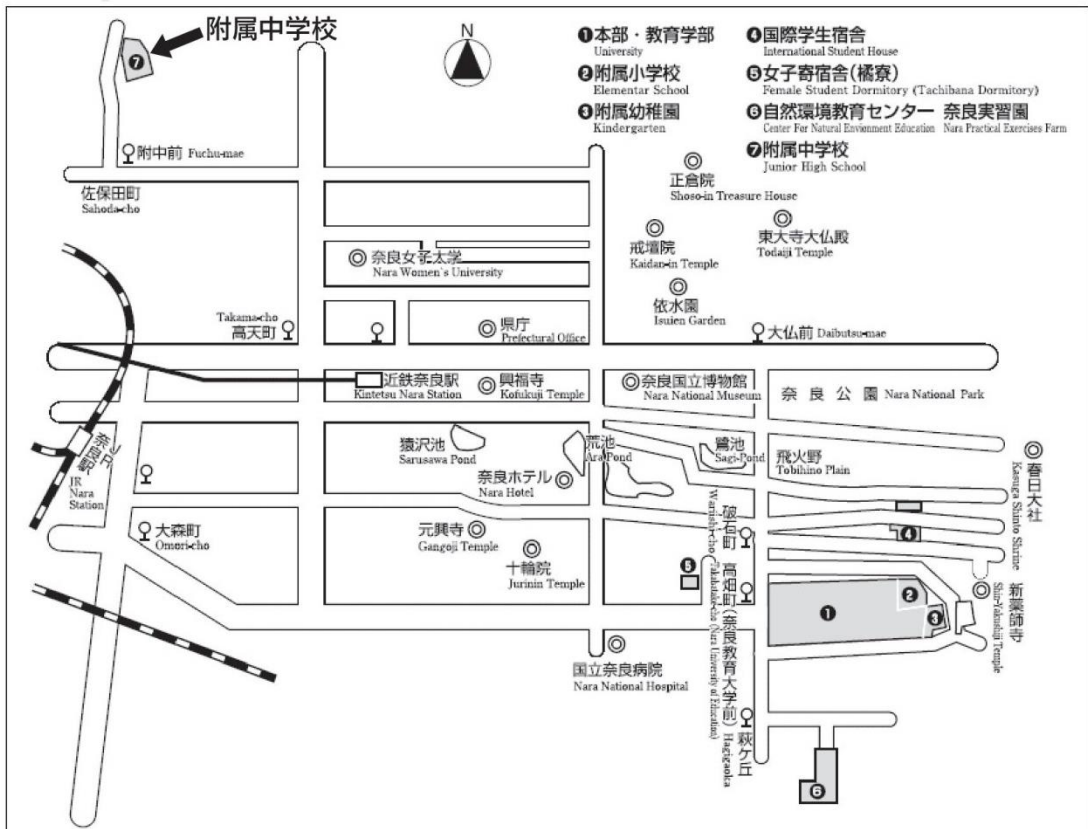


附属校園 地図

1. 附属幼稚園・附属小学校・特別支援学級（旧・障害児学級）地図

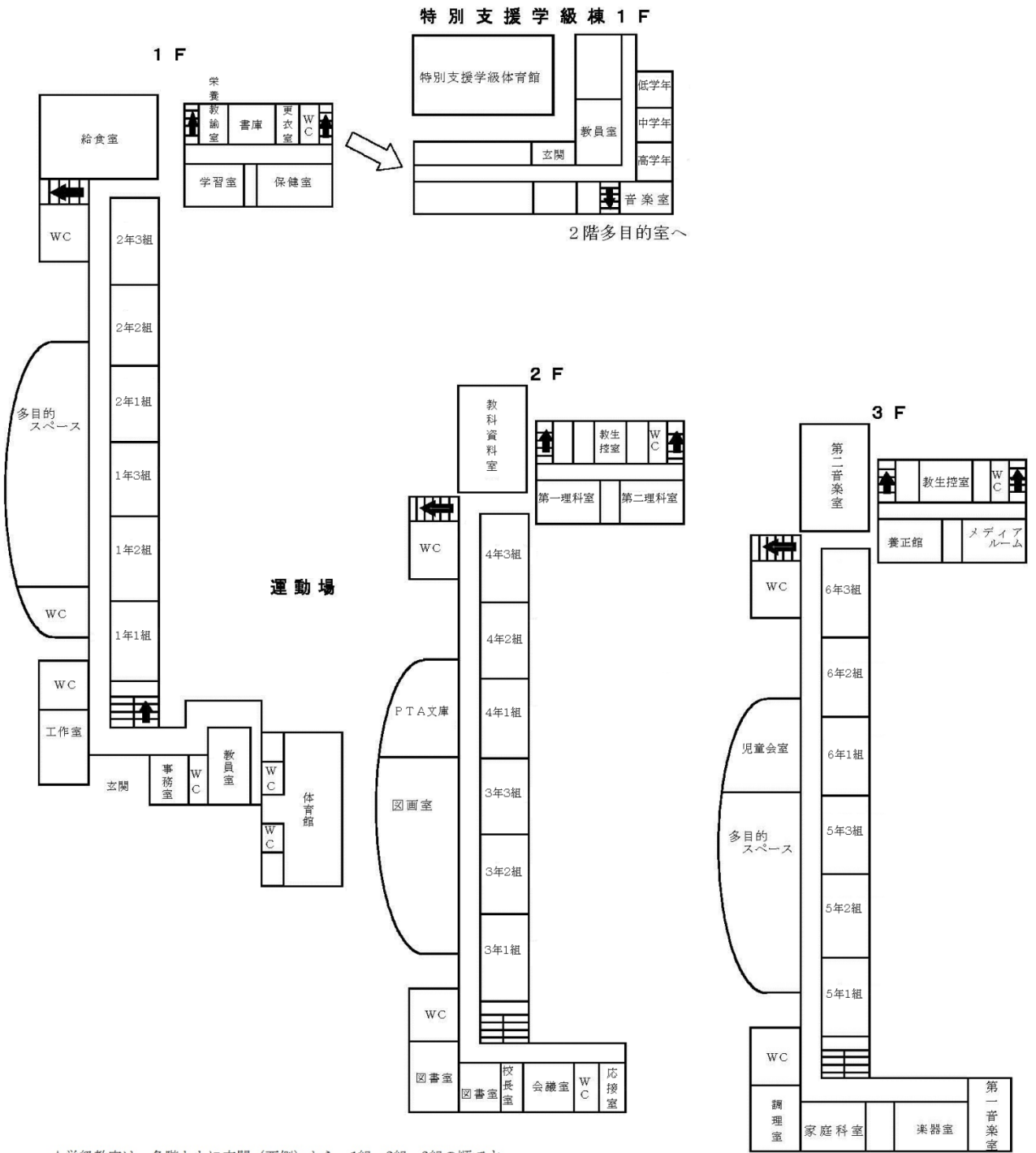


2. 附属中学校地図



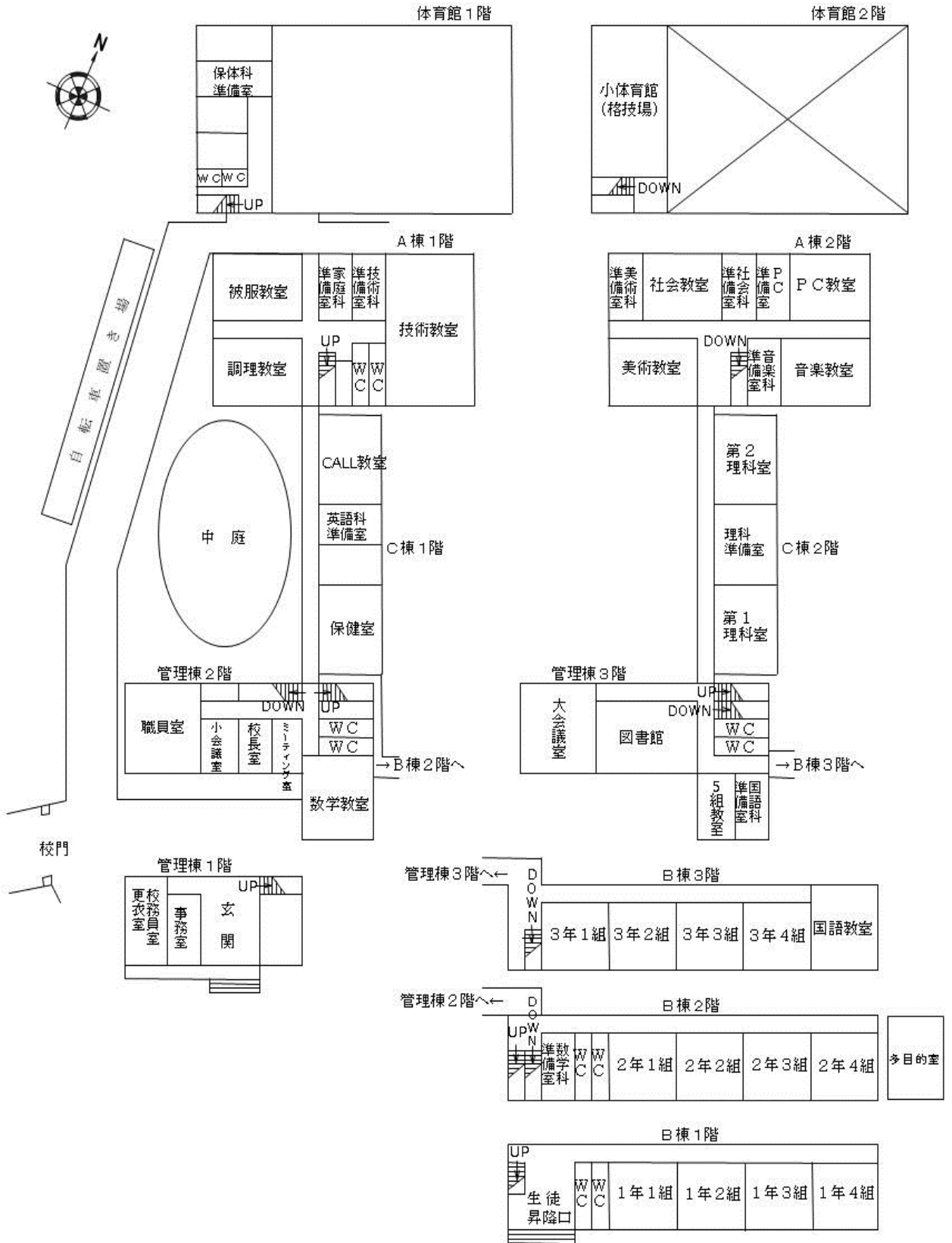
3. 附属小学校内図

現代教師論



- ☆学級教室は、各階ともに玄関（西側）から、1組・2組・3組の順です。
- ☆児童用のトイレは、各階ともに、西側が女子用、東側が男子用です。
- ☆学級園は南側の日当たりのいい所です。
- ☆学級や学年のPTA行事には1階の多目的スペースが使えます。横に、障害者用のトイレがあります。
- ☆家庭科は、調理室と家庭科室の2つの教室があります。

4. 附属中学校内図





現
代
教
師
論



現代教師論 講義前ミニレポート（幼稚園）

	専修		履修分野		回生		月	日
--	----	--	------	--	----	--	---	---

学生番号	学生氏名
------	------

①幼稚園における教育の実際や教師の役割について、教育現場の先生に聞いてみたいこと



現代教師論 講義前ミニレポート（小学校）

	専修		履修分野		回生		月	日
--	----	--	------	--	----	--	---	---

学生番号	学生氏名
------	------

②小学校における教育の実際や教師の役割について、教育現場の先生に聞いてみたいこと



現代教師論 講義前ミニレポート（中学校）

専修	履修分野	回生	月 日
----	------	----	-----

学生番号	学生氏名
------	------

③中学校における教育の実際や教師の役割について、教育現場の先生に聞いてみたいこと



現代教師論 講義前ミニレポート（特別支援教育）

専修	履修分野	回生	月 日
----	------	----	-----

学生番号	学生氏名
------	------

④特別支援教育の実際や教師の役割について、教育現場の先生に聞いてみたいこと



現代教師論 講義後ミニレポート（幼稚園）

	専修		履修分野		回生		月	日
--	----	--	------	--	----	--	---	---

学生番号	学生氏名
------	------

⑤幼稚園における教育の実際や教師の役割について、教育現場の先生の講義を受けて学んだこと



現代教師論 講義後ミニレポート（小学校）

	専修		履修分野		回生		月	日
--	----	--	------	--	----	--	---	---

学生番号	学生氏名
------	------

⑥小学校における教育の実際や教師の役割について、教育現場の先生の講義を受けて学んだこと
